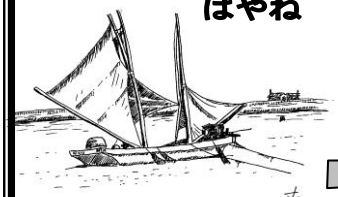
はやね　はやおき　朝ごはん　テレビを止めて外遊び

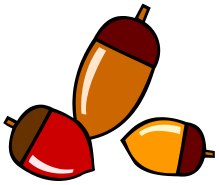


三角帆

<みんなのめあて>～がんばる・考える・思いやる～

平成２６年度
別海町立野付小学校
学校だより　No.7
平成２６年１０月１日
発行責任者
校長　音 川 忠 志

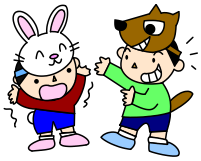
学芸会で大きく育て～10月



銘木「野付の千島桜」の葉もオレンジ色に染まり始め、オニグルミやドングリの実が歩道に落ち、秋の深まりを感じます。

さて、２学期の大きな行事「学芸会」が３週間後に迫ってきました。
子どもたちにとって、学芸会は学校生活の大きな節目になります。また、教科の学習では体験できない多くの学びがあります。

それは、①子どもにとって「めあて」が、はっきりしていること～劇では、ゆっくり大きな声で発表し、器楽ではみんなに合わせて間違わないように演奏する。そして、何よりも、お家の人に（かっこいい姿を）観てもらうことです。②一人ひとりに役割があり、活動（活躍）できる場面がある～出番が多いか少ないかは、問題ではありません。大勢の人の前で表現することが、本人にとって最大の課題なのです。③練習の中から、新たな意欲が生まれる～練習して上手くできるようになったり、友達との練習が楽しくなる機会がたくさんあります。④一人ひとりに評価があります～子どもたちの頑張りをほめてくれる人がいます。大人達は、つい何気なく出来映え・完成度を気にしてしまいますが、子どもたちは劇団員でもなければ、歌手でもありません。大勢の人の前での発表は、緊張してしまうのは当然です。その緊張した中での発表は、賞賛に値します。発表後の大きな拍手は、子ども達の満足感を生みます。そして、さらに大切なのは、親にしか分からない「我が子なりの頑張り」をほめてもらうことです。



学芸会の取組は、一人ひとりの頑張りが劇や器楽合奏の完成につながり、
友達との協力や助け合う活動を通して、大事な「やる気」を育てる絶好の機会です。
昔から「子どもにやる気を起こさせたら、その行事は９割成功」と言われております。当日の発表に向け、お家でも「やる気」を起こさせるような言葉をかけてあげてくださるとうれしいです。

１０月１９日（日）、今まで練習を頑張って来た子どもたちが、真剣に発表する姿・やる気を是非ご覧ください。昨年度の発表では、表現することを楽しみ、いざとなったら思い切って出来る本番での力強さを感じることができました。今年度も一人ひとりが生き生きと発表してくれることでしょう。
日ごろより本校の教育活動に対しまして深い御理解・御支援を頂いておりますことに厚く御礼を申し上げますとともに、みな様のご来校をお待ちしております。

校長　音川　忠志